

埼玉親善大使レポート

滞在先:モロッコ
氏名:徳田万陽

私は2022年8月下旬から2022年12月下旬までアフリカ・モロッコのイフレンにあるAl Akhawayn University(アル・アハワイン大学)に留学しました。Al Akhawayn Universityはアメリカン式の教育方法を取り入れているグローバルな大学で、いろいろな国から留学生が集まり、授業は英語で行われています。



●モロッコどんな国

アフリカ大陸の一番北西にある国です。モロッコの公用語はアラビア語(ダリジャというモロッコでしか通じない方言)、フランス語、ベルベル語の3つですが空港や駅、ホテルなどでは英語も通じることがあります。しかし、町のお店や大学内のレストランや売店などは英語が通じず、アラビア語/フランス語でのやりとりになり、少し苦労しました。物価は日本に比べてものによって少し安いかな?少し高いかな?という感じで、日本と同じような感覚で買い物や食事ができました。

料金いろいろ



- 500mlのペットボトルの水:約40円
- 500mlのペットボトルの炭酸飲料:約80円
- カップのヨーグルト(100g):約30円
- マクドナルドのビックマックセット:約850円
- 学食のマルメロと牛肉のタジン鍋:約450円
- カサブランカ〜フェズまでの一等席の電車代(約4時間・直線距離250km):約2800円
- プリペイドsim + 4か月20GBのデータ通信料:約3000円

モロッコでの食事はイスラム教の国なので豚肉の料理はありません。モロッコらしい料理としてはタジン鍋(鳥や牛、野菜、いわしなど)やクスクス(モロッコでは毎週金曜日はクスクスを食べる日だそうで、大学で迎えた初めての金曜日にクスクスパティーに招待

されました)、砂糖たっぷりのミントティーなどがあります。

タジン鍋／チキンのクスクス



発展途上国というイメージがあったモロッコでしたが、実際のモロッコは発展途上国と先進国をあわせもつ国という印象で、モロッコの多くの都市で新市街と旧市街に分かれていました。新市街は先進国の街並みとなっており、ラバト(首都)やカサブランカという大都市の新市街には新幹線の発着駅があり、駅はきれいで、トラム(全長65メートル10両編成の路面電車)が走り、きれいなホテル、や、大型ショッピングモールもいくつもあります。(ホテルやショッピングモールは日本にあるものと似ています。)ただ、新市街であっても交通ルールが守られない、大気汚染(排気ガスなどで空気が濁っている)、空き地に瓦礫が放置されている...など整備が行き届いてないところや、日本とは違う国民性を垣間見る機会がありました。また、私はモロッコの入出国前後にカサブランカに何日か滞在しましたが新市街では治安が悪いとは感じませんでした。しかし、大学のモロッコ人にカサブランカに滞在したことを話すと「危険だ!」、とか、「怖くなかった?」と聞かれることがありました。スマホの電波はモロッコのどほとんどの地域で電波が飛んでいてプリペイドSIMカードを利用してスマホを使うことができました。

カサブランカにて。Casa-Voyageurs駅とトラム



旧市街はモロッコの昔ながらの街並みです。建物がひしめき、人がすれ違うのがやっとの狭い路地が無秩序に延びています。外敵の侵略から守る為に周囲に堅固な城壁を巡らせ、内部を複雑な構造にした都市が発達したそうです。私は怖い目にあったりしませんでした。旅行者を狙ったぼったくりやスリもあるそうで治安が良いとはいえません。



●モロッコの人々

事前情報では世界三大うざい国としてモロッコがあげられていたので、「客引きがしつこい!」、「チップ!チップ!」などが日常茶飯事にあるのでは?という前は不安でしたが、実際にはタクシーの客引きが少ししつこいくらいで(それでも断ればすぐに去ってくれます)大変だと感じることはありませんでした。逆に電車では荷物の積み下ろしを手伝ってくれるし、道に迷っていると道案内してくれたり(ただ、観光地では親切心だけではない人もいます。)大学では履修登録や勉強で悩んでいると相談にのってくれたり、食べ物は分け合うことが当然かのようにくれたり、体調が悪い時には寄り添ってくれたり、課題をてっだってくれたり、モロッコの人々は非常に優しい人が多いという印象でした。また日本語のTシャツを着ている人や、日本のアニメやゲームのキャラクターなどを店先でよく見かけ、モロッコはすごく親日国だと知り、驚きました。

●モロッコのAl Akhawayn University (アル・アハワイン大学)までの道のり

日本からモロッコへの飛行機の直通便はなく中東またはヨーロッパを経由して行くことになります。私は成田空港からカタールを経由してモロッコのカサブランカへ約20時間弱かけて行きました。カサブランカに2泊した後、電車に約4時間乗り、フェズへ。フェズからグラントクシーでアトラス山脈を約1時間のぼってイフレンにある大学に着きました。

●イフレン

アフリカは暑い!というイメージがあるかもしれませんが、モロッコの気候は日本と同じように四季があり、気温も日本と同じような感じです。イフレンはアトラス山脈の中腹(標高1650メートル)にあり、モロッコの他の街よりは涼しく、フランス植民地時代に避暑地(リゾート地)として開発されました。その為、風景は他のモロッコの街並みと異なり、自然が溢れ整然とした美しい町並みとなっておりヨーロッパの雰囲気があります。冬には雪が降り、スキー場もオープンします。ですが、ここ数年で温暖化が進み、川が干上がってしまったり、冬に雪が降りにくいということも起きているようです。温暖化の深刻さを感じました。

●イフレンの街並み



●Al Akhawayn University (アル・アハワイン大学)

授業は英語で行われます。参加型の授業が多く、自分の意見を言う機会が多いです。英語で自分の考えを言えることが重要でした。日本にカタカナ英語があるように、私の言っていることが伝わらなかったり、教授が話す英語がフランス語なまりやアラビア語なまりの英語だったり、また、いろいろな国から留学生が来ているのでその国のなまりの英語があつたりしました。いろいろな英語に苦労しました。モロッコが4位と活躍したワールドカップでは大学でパブリックビューイングをして応援し、すごい盛り上がりでした。



●寮生活

Al Akhawayn University (アル・アハワイン大学)は全寮制で留学生は大学内にある2人部屋の寮に住みます。留学生はルームメイトとしてAl Akhawayn University (アル・アハワイン大学)のモロッコ人学生と一緒に生活をします。

●モロッコと猫

イスラム教では猫を大切にしている習慣があるそうで街を歩いていてもたくさんの猫を見かけます。大学内でもレストランや寮の周辺で猫を見かけますし、寮の中に入ってきちゃう猫もいます。猫好きにはたまらないです。



●日本サークル

Al Akhawayn UniversityにはJapaneseサークルがあり、こまめに日本の文化や日本語に関する活動が行われています。私がJapaneseサークルに参加した時には「あの日見た花の名前を僕達はまだ知らない。」という偶然にも埼玉(秩父)が舞台となっているアニメでした。鑑賞会が終わった後に、私は埼玉の

名産である粉末タイプの狭山茶を教授や現地学生、他の留学生に配りながら、私はこのアニメの舞台となった埼玉から来たこと、埼玉は東京の隣にあること、アニメの中の街が本当にあること、などを伝えるとアニメの中に出てくるきれいな自然や街並み、お寺、お祭りなどが本当にあることに驚いていました。埼玉について知っている人はいませんでしたが、自分が秩父を観光した時の写真(三峰神社、羊山公園の芝桜など)を見せたり、このアニメの他にも埼玉が舞台となるアニメがたくさんあることも伝えると、埼玉に興味を持ってくれる人が多くいて、「ぜひ埼玉に遊びに来てください」と埼玉のアピールができました。

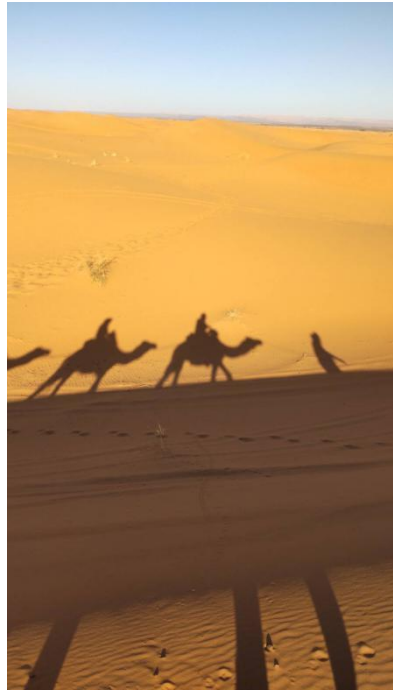
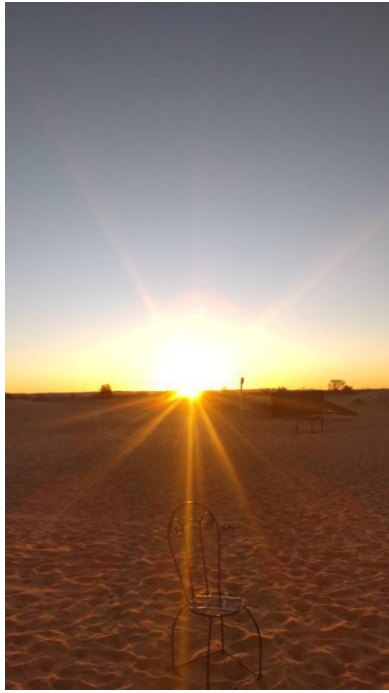
日本サークル以外でもいろいろなところで配った粉末スティックタイプの狭山茶



●旅行

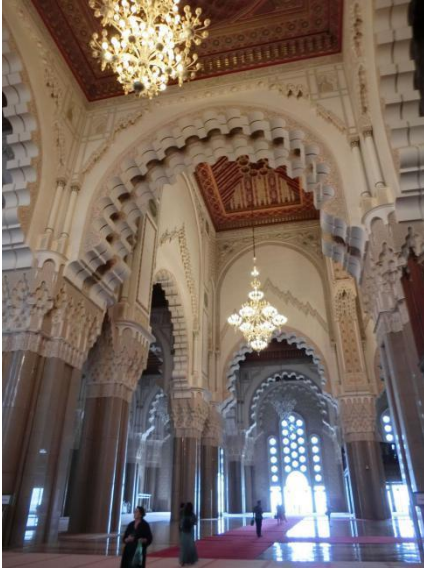
大学での勉強だけでなく異文化を体験する為に週末には友達同士で旅行を計画したり、大学が主催する旅行に参加しました。行った場所:イフレン(大学がある街)、フェズ(世界遺産:世界一の迷宮都市)、メクネス(世界遺産:古都メクネス)、サハラ砂漠(世界最大の砂漠)、ラバト(世界遺産:近代都市と歴史的都市が共存する首都)、カサブランカ(モロッコの最大の都市)

サハラ砂漠



カサブランカ・ハッサン2世モスク(モロッコ最大のイスラム教の礼拝堂)





ルームメイトのモロッコ人の実家へドイツ人留学生と一緒に泊りに行きました。家具や、家の内装がとても豪華でした。モロッコの富裕層はこのような家に住んでいる家族が多いようです。夕飯に山羊が1頭出てきたことには驚きました。

●旅行中の宿泊

モロッコのホテルは日本のビジネスホテルと同じような清潔さ、設備が整ったホテルでした。またモロッコ特有の宿泊施設としてリヤドがあります。リヤドとは裕福な人が住んでいた家を改築した、内装から小物まで写真に残したくなるようなもので揃えられた異国情緒たようモロッコ独特の宿泊施設になります。

リヤド



●最後に

私の留学先だったモロッコは非英語圏の国で留学先としてはマイナーな国かもしれませんが人々がやさしく親切で、観光地も素敵な場所が多くとても魅力的な国でした。ただマイナーな国であるが為、モロッコへ行くのに困ったことは情報量の少なさでした。(治安は？英語はまったく通じないの？携帯の電波は飛んでるの？移動手段は？などなど)今回の私のモロッコでの留学体験(モロッコへ行くために調べたこと。大学での生活。モロッコで旅行したこと。など)をブログにまとめましたのでよかったら見てください。私のモロッコ留学&旅行のブログをきっかけに、モロッコだったり、モロッコ以外の国にも興味を持ってもらい、埼玉からいろいろな国への留学生が増えることを期待しています。

モロッコ留学&旅行のブログ

<https://ameblo.jp/oimo-iichan>